



高さ約6mになる大たいまつが立てられた  
麦わらのいかだ

## 大たいまつ の炎赤々と

毎年八月一日に行われている奇祭「かわかんじょう」が今年も神島地区の狩野川で行われました。大小のいかだに乗せられたたいまつに火がともされると、地元保存会の若衆が川の中に引き込み、独特のはやし「ウ、ウ、ウ、ウ、ウ」と声を上げました。橋の上にいる子どもたちはその声に「ウ、ウ、ウ、ウ、ウ」と返し、はよしの掛け合いが続き、はやし橋の上に集まった人たちは、水面に映る炎の幻想的な光景を見守りました。

### 笑いの天才に学ぶ 入山学のワークショップ

七月二十九日、葦山時代劇場で欽ちゃん劇団所属ユニット「カンカラ」のリーダー入山学さんによる笑いワークショップを開催しました。近隣で活躍する劇団員や市民など三十人が集まり、笑いの仕組みや、リズム、動きなど、お笑いについて学びました。基礎知識から実践まで、参加者は真剣に取り組みしていました。



熱心に指導する入山さん

### 民話をアレンジ ことばあそび、楽語の会、いずのゆめ

7月15日、葦山時代劇場で、同劇場付属劇団第4回「ことばあそび、楽語の会、いずのゆめ」を上映しました。ござや座布団を敷いて田舎の夏休みをイメージした舞台上、劇団員が伊豆の民話を劇、紙芝居、朗読劇などにアレンジしたものを披露。約100人が来場し、物語を楽しみました。葦山時代劇場付属劇団は、小演劇やショートコントなど出張公演を随時行っています。



歌や踊りを交えて伊豆各地に伝わる昔話を表現

### かわかんじょう

毎年八月一日に行われている奇祭「かわかんじょう」が今年も神島地区の狩野川で行われました。大小のいかだに乗せられたたいまつに火がともされると、地元保存会の若衆が川の中に引き込み、独特のはやし「ウ、ウ、ウ、ウ、ウ」と声を上げました。橋の上にいる子どもたちはその声に「ウ、ウ、ウ、ウ、ウ」と返し、はよしの掛け合いが続き、はやし橋の上に集まった人たちは、水面に映る炎の幻想的な光景を見守りました。



例大祭前日、準備を進める区民たち



奉納された大しめ縄

数百年前から続くとされる伝統行事で、かつては三島まで歩いて運ばれていました。

### 間眠神社へ奉納 長崎区民手作りの大しめ縄

八月一日、長崎区民五十五人により作り上げられた大しめ縄が、三島市の間眠神社に奉納されました。長さ約三・六m、重さ百二十kgの大しめ縄は、八月一日の神社例大祭にあわせ、毎年奉納されているもの。長崎でまつられていた稲荷が洪水で流され、現在の間眠神社に流れ着き、連れ帰ろうとしたが動かさなかったことから、その地になつたといわれています。数百年前から続くとされる伝統行事で、かつては三島まで歩いて運ばれていました。

## PHOTOぎやらり〜



大仁中学生による演奏（1日）



「アユ、待って〜」（3日）



華麗に魅せた下駄ダンス（4日）

### 市内3中学校が共演 アクシス吹奏楽フェスティバル



若々しい演奏を披露した中学生たち

7月17日、アクシスつらぎで、アクシス吹奏楽フェスティバルを開催しました。長岡、葦山、大仁の中学校吹奏楽部が若さあふれる演奏を繰り広げました。また、出演の中学生に質の高い演奏を鑑賞してもらおうと、常葉短大ウィンド・オーケストラによる大学生の華麗な演奏も行われました。出演者全員によるフルジョイント演奏もあり、観客から盛大な拍手が送られました。

## 三夜彩る大輪の花 各地でにぎわう夏祭り

八月一日にきにゃんね大仁夏祭り、三日に葦山狩野川まつり、四日に伊豆長岡温泉戦国花火大会が開催されました。三夜ともに多彩なステージイベントと花火大会が繰り広げられ、大勢の人でにぎわいました。



河川敷から見上げる花火（4日）

### 花と野菜のコンクール 第二回 EMほかしで花と野菜のまつり

七月十五日、葦山庁舎駐車場でEMほかしで花と野菜のまつりを行いました。EMほかしを使って育てられた花や野菜七十五点が出品され、EM大賞に相川幸子（寺家）さんの作品が選ばれました。この他、「EMのはたらき」についてのミニ講演会も行われ、来場者は、EMほかしを用いた生ごみ堆肥の話に聞き入りました。



立派に育った花や野菜が勢揃い